

令和8年(2026年)3月16日

環境推進監督者

環境推進統括者

### 八王子市ゼロカーボン指針監査の結果について(通知)

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく八王子市地球温暖化対策地域推進計画及び八王子市ゼロカーボン指針(以下、「指針」という。)に基づく八王子市役所の地球温暖化対策に資する取組について、令和7年度に実施した監査の結果を以下の通り通知します。

本監査は、好事例の横展開も目的の一つとしていることから、監査対象内外にかかわらず、すべての所管において本通知をご確認いただき、自らの所管における地球温暖化対策に反映させ、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた取組を加速化させるようにお願いします。

#### 1 監査の形式

##### (1) 書面監査

各所管が自己点検シートにより自己点検を実施した。

##### (2) 集合監査

監査チームが環境推進監督者より対面で取組状況の聞き取りを行った。

##### (3) 現場監査

監査チームが現地に赴き、指針に基づき取り組んでいるか確認した。

#### 2 監査日程

(1) 書面監査(自己点検期間): 令和7年(2025年)10月15日~11月7日

(2) 集合監査: 令和7年(2025年)11月5日

(3) 現場監査: 令和7年(2025年)12月12日~16日(計3日間)

#### 3 監査対象

書面監査及び集合監査	現場監査
子ども家庭部	元八王子子ども若者育成支援センター (青少年若者課)
環境部	館クリーンセンター (資源循環施設管理課)
契約資産部	資産管理課

福祉部	ボランティアセンター（福祉政策課）
都市計画部	都市総務課
道路交通部	建設課
総合経営部	デジタル推進課

#### 4 監査員

市民監査員（環境推進会議委員）5名  
市民監査員（地球温暖化防止活動推進員）4名  
環境政策の専門家 1名

#### 5 監査内容

各所管において、指針に基づきそれぞれの事務事業にあった環境配慮行動の目標を設定し、各所管及び各施設で温室効果ガスの削減に資する取組を実施している。この取組が着実に実行できているかを確認するため、監査対象所管・施設が書面による自己点検を行うとともに、監査チームが集合監査及び現場監査を実施した。

#### 6 監査結果

##### (1) 全体を通して

それぞれの所管が実情に合わせ、指針に基づいた環境配慮への具体的行動を着実に実行していた。単に環境配慮行動をとるだけでなく、所掌する事務事業や地域の課題解決と温室効果ガス削減の同時実現をした所管も複数あり、引き続き全ての所管で所掌事務における地球温暖化対策の視点を踏まえた取組を実施すること。

市施設より排出される温室効果ガス排出量は、指針において前年度比 5.7%削減が目標に掲げられている。令和6年度は基準年度である令和3年度比 16.14%削減が目標であるところ、実績は 12.66%削減であった。引き続き 2030 年度目標の達成に向けて、太陽光発電設備の設置や照明の LED 化など、具体的な排出量削減に資する取組を進めること。

項目	目標	令和6年度実績
温室効果ガス排出量	16.14%削減 (令和3年度比)	12.66%削減 (令和3年度比)
太陽光発電設備	設置可能な建築物の 50%以上に設置 (2030 年度までに)	33%
LED 照明	照明 100%LED 化 (2030 年度までに)	照明 100%LED 化済み施設 27%

##### (2) 評価及び監査所見

###### ア 書面監査

書面監査の結果は下表の通り。指針に定める職員一人ひとりが当然に実施する具体的な環境配慮行動は、各所管の実情に合わせて着実に実行されていた。

「エネルギー使用量の削減」のうち、「できていない」割合が多い行動は「エネルギー使用量を把握して、グラフ化し、見える場所に掲示するなどエネルギーを見える化することで、エネルギー使用量の削減を意識づけることができている。」であり、できていない理由は「周知啓発に取り組んでいなかったため、徹底されていない。」との施設が多かった。改めて各施設における見える化等の取組をお願いします。

分類	できている	できていない
指針の理解	100.0%	0.0%
紙の使用量削減	97.5%	2.5%
廃棄物の排出・抑制、資源化の推進	99.2%	0.8%
エネルギー使用量の削減	82.7%	17.3%
環境に配慮した物品の購入	95.9%	4.1%
水道使用量の削減	99.2%	0.8%
公用車を運転するとき	100.0%	0.0%
通勤時の環境配慮	96.7%	3.3%

#### イ 集合監査

監査対象所管	取組及び監査員による所見
子ども家庭部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に目標が具体的で市民に波及効果もあるが、数値目標があるときらによい。</li> <li>・ オンラインの活用について、主催団体に交渉し、オンライン申請、オンライン会議の実施をさらに進めてほしい。</li> <li>・ 子ども若者育成支援センターについて LED 化が進んでいない。</li> </ul>
環境部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3部（環境部、資源循環部、水循環部）が一つの部となり、統制の取り方が難しいと思うが、水、廃棄物、環境全般とトータルで取り組むことは、横連携が期待できる。</li> <li>・ 市有施設への太陽光発電設備の設置について、PPAの期間延長（設置期間を3年から5年に延長）は残念である。啓発に活用していることを調査票に示すとよい。</li> <li>・ ごみの収集車の車両台数について、効率的な収集ルート変更による減車は評価できる。</li> <li>・ 旧水循環部の目標は数値が示されていてよい。雨庭づくりのワークショップの実施は他にも展開できる良い取り組みである。</li> </ul>
福祉部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種申請等でオンライン申請を進めることはよいが、デジタル弱者である高齢者等にどう対応していくか。支援体制が必要となる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活福祉総務課、生活福祉地区第一課、生活福祉地区第二課の3課の目標及び取組内容が、同一の記述となっており、同一文面を転用したかのように見える状況です。各課において目標・取組方法を検討し、取り組んでいただきたい。(それぞれで検討した結果、同一の目標・取組方法になることを妨げるものではありません。)</li> </ul>
都市計画部	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績・目標調査票の記載について、事務用品の在庫をデータ管理することによる発注減の効果や二酸化炭素排出量の削減量の記載があるとよい。</li> <li>まちづくりに関するワークショップにおいて、3D都市モデルに係るデジタル技術を活用する取り組みは特徴的で評価できる。模型作成に係る紙などの削減量を明確にし、PRしてほしい。</li> </ul>
総合経営部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業務においてPDCAのC(Check)を図や文章などで見える化をすることは良いことである。Checkしないと改善できないので、これを踏まえて取り組んでほしい。</li> <li>電子化の促進について、庁舎全体を考えており、効率化が進めば望ましい。市民サービスをどこまで拡充するか。</li> <li>各課の目標について、6年度にどのくらい取り組みが進んでいるのか見えない。実施予定期間と実績を示してほしい。</li> </ul>
道路交通部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の目標について、エコドライブの記載だけではなく、部長の思いを反映してほしい。</li> </ul>
契約資産部	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約手続きの電子化は相手がいるので、紙を減らす方法を相手にどのように働きかけるかが重要である。</li> <li>各課の目標に対する実績を数字で示していることはよい。押印不要の書類を廃止して、電子化の拡大を進めてほしい。</li> <li>検査項目のチェックポイントを明確にし、タブレット端末を利用した検査を進めて、検査品質の向上と電子化の両立を進めてほしい。</li> <li>市営子安団地跡地の販売を、ZEH基準を満たす住宅の建築を前提とした点は評価できる。</li> </ul>

#### ウ 現場監査

現場監査対象所管・施設	取組及び監査員の所見
元八王子子ども若者育成支援センター (青少年若者課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが児童館に集まることで、家庭のエアコンの消費が減り、市全体の電気使用量の削減につなげるといった自分の部署だけではなく、広く市全体に気を配り、ゼロカーボンシティ実現に向け努力している姿勢に感心した。</li> <li>中学生への温暖化対策の普及啓発をお願いしたい。</li> </ul>

<p>館クリーンセンター (資源循環施設管理課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃工場は環境問題の最前線である。設備が素晴らしく、これ以上何をすればいいのかという状況のなかで、少しでも発電効率を上げるために細かな努力をしていることに感心した。</li> <li>・回収したCO<sub>2</sub>をどう活用するか、研究が必要である。</li> </ul>
<p>資産管理課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅子安団地跡地売却について、建設する住宅はZEH以上とし、入居後も1年間データをもらい、ZEH住宅の効果を検証するといったゼロカーボン指針を盛り込んだ条件設定を行っていて、市民・事業者への啓発となっている。</li> </ul>
<p>ボランティアセンター (高齢者いきいき課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉の観点だけでなく花壇整備などへのボランティア派遣を行っているので、範囲を広げて緑地保全ボランティア等にも登録を広げていただきたい。</li> <li>・ボランティアセンターで登録している団体が福祉に関する団体が主だということもあるが、ゼロカーボンシティにつながる取り組みを聞きたかった。</li> <li>・ボランティア活動の情報はLINEなどを活用し、ペーパーレスと効率化を進めている点は良い。</li> </ul>
<p>都市総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の中でCO<sub>2</sub>を削減する取り組みをやってほしい。</li> <li>・令和7年度の目標を当たり前の取り組みから多摩NTで実施するまちづくりイベント(ランタンまつり)でLEDランタンを使用し、地球温暖化防止について普及啓発する内容へ変更したことは大変良いと思う。</li> <li>・事務用品の削減は小さなことかもしれないが、部庶務担当課で在庫等を一括管理する仕組みを作って運用したことに意味がある。この取り組みを全庁に展開できると良い。身近なところから職員の意識は高まったと思うので、次年度以降は都市総務課の取り組みが事業として見える、市民に分かるものに発展することを期待する。</li> </ul>
<p>建設課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場に出向くことが業務なので、「事故・災害ゼロ」は難しい目標である。目標をゼロカーボンの視点での取り組みに変更してもいいのではないか。</li> <li>・事故があった時の対応マニュアルについて、市職員だけではなく、実際に工事を施工する委託業者にも取り組ませることを検討してほしい。</li> </ul>
<p>デジタル推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン申請でも最終的な通知は紙出力となるため、全体では変わらない。全てをデジタル化しないと意味がない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・単年度での目標は難しい。中長期的な目標の中で振り返りすることが大事である。</li><li>・電気を削減する観点でも考えてほしい。</li><li>・市役所が便利で開かれているためにも、デジタル化は必要不可欠であると感じる。</li><li>・新しいことを始めるにはCO<sub>2</sub>削減に逆行することもあるが、そのために何をやめるのかを全庁レベルで考えてほしい。DXに振り向ける資源が増えることを期待する。</li></ul>
--	--

(3) 是正勧告

なし